

◆SMI都心ラインに係る実証実験について

実施目的

- 便利・快適でバリアフリーな移動環境や居心地の良いウォーカブルな都市空間の形成をめざすSMIプロジェクトの推進に向け、自動運転技術の活用やテラス型停留所、滞留空間の設置等について、その導入効果や課題等を検証する。
- 市民の体験機会を創出し、市がめざす将来像を実感してもらうことと併せ、アンケート等により市民ニーズを把握する。

実施時期

○令和4年11月11日（金）～11月13日（日）

実験内容

■自動運転技術を活用した実験

① 大小路筋における自動運転電動車両の走行実験

ARTの導入をめざす大小路筋において自動運転電動車両での走行実験を実施し、自動運転を導入するうえでの課題等を検証する。あわせて、モニターによる乗車体験を通じ、社会受容性や市民ニーズを把握する。

※実験は自動運転レベル2で実施し、運転手が乗車する。

② 停留所への正着実験

熊野小学校前停留所（仮設テラス型停留所）と市小学校前停留所（既存バスベイ型停留所）において、自動運転車両の正着に係る比較実験を実施し、正着精度や課題等について検証する。

③ バリアフリー乗降実験

熊野小学校前停留所に設置する仮設停留所について、自動運転による正着に加え、車両の高さに合うようマウンドアップを行うことで、段差や隙間を解消し、バリアフリー乗降について検証する。

■脱炭素に向けた実験

④ 電動車両の運行による課題等の検証

脱炭素化を見据え、自動運転電動車両の運行により、車両の充電や操作など、電動車両の運用面での課題等について検証する。

■ARTステーションを見据えた実験

⑤ 大小路停留所付近における待合休憩スペースの設置

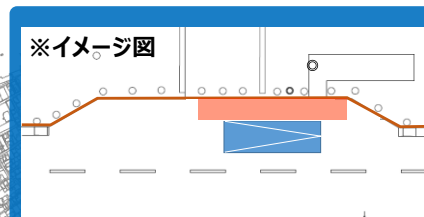
大小路交差点付近において、利用者向けの待機・待合スペースを設置し、将来的なARTステーションの設置に向けた課題等を検証する。

⑥ 次世代モビリティの体験会

利晶の杜において次世代モビリティの体験会を実施し、利用ニーズ等について確認する。併せて、デジタルサイネージを活用した情報発信の実験を実施する。



- ① 大小路筋における自動運転電動車両の走行実験
- ④ 電動車両の運行による課題等の検証



- (熊野小学校前)
- ② 仮設テラス型停留所への正着実験
- ③ バリアフリー乗降実験



- (市小学校前)
- ② 既存バスベイ型停留所への正着実験



⑥ 次世代モビリティの体験会



⑤ 大小路停留所付近における待合休憩スペースの設置